


OA義務化、悩んで当然。だからシェアするリポジトリの試行錯誤

趣旨説明

2025年10月23日

九州大学附属図書館 兵藤健志
(JPCOARイベント運営作業部会員)



本フォーラムの 対象者

即時OAの対応を
本格化したい担当者へ

雑誌論文のリポジトリ登録
の経験が少ない方へ

漠然とした不安を
抱えている方へ




先行大学の 事例をシェア

東邦大学

長崎大学

神戸常盤大学

九州大学



本フォーラムの 目指すところ

悩みを前向きな力に変える。

すぐに使えるヒントを持ち
帰る。

仲間を見つける。

国のOA基本方針

理念

- 公的資金により生み出された研究成果の国民への還元と地球規模課題の解決に貢献
- 国全体の購読料とオープンアクセス掲載料の総額の経済的負担の適正化
- 我が国の研究成果の発信力向上

2025年度新規公募分から
一部の競争的研究費制度において
学術論文等の即時オープンアクセスを義務づけ

方針

対象となる競争的研究費制度

資金配分機関	制度名
日本学術振興会	科学研究費助成事業
科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業（一部を除く。）
日本医療研究開発機構	戦略的創造研究推進事業 （革新的先端研究開発支援事業）
科学技術振興機構	創発的研究支援事業



対象となる 学術論文等


- 電子ジャーナルに掲載された
査読済みの研究論文
- およびその根拠データ
 - 掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規程等において、透明性や再現性確保の観点から必要とされ、公表が求められる研究データ
 - 公表を前提としていないデータは含まない

Gold OA

- ジャーナルでの論文出版によるOA
- 高額な論文掲載料（APC）が必要

Green OA

- 機関リポジトリなどにセルフアーカイビング
- 著者の費用負担なし
- 多くは著者最終稿の掲載
掲載禁止期間（エンバーゴ）あり



機関リポジトリ 等の情報基盤へ の掲載

- 所属する機関において機関リポジトリが整備されている場合は、原則として、当該機関リポジトリにおいて学術論文及び根拠データを掲載する

Gold OA

- ジャーナルでの論文出版によるOA
- 高額な論文掲載料（APC）が必要

Green OA

- 機関リポジトリなどにセルフアーカイビング
- 著者の費用負担なし
- 多くは著者最終稿の掲載
掲載禁止期間（エンバーゴ）あり



即時OAが困難な場合

- 受給者は、資金配分機関が整備するシステムを通じて、各年度の実績報告の際に、困難な理由を報告
 - a. 出版社や雑誌のポリシーでエンバーゴの規定が存在
 - b. 出版社や雑誌のポリシーが存在しない又は不明瞭
 - c. . . .
 - d. . . .
- 受給者は、即時オープンアクセスの実施が困難な理由が解消された場合は、速やかに「機関リポジトリ等の情報基盤」への掲載を行う

ごりや〜
まいったバイ



OA義務化、悩んで当然。

だからシェアする

リポジトリの試行錯誤